

令和4年度『オープンスクール』特集

11月19日（土）、科学技術高校令和4年度「オープンスクール」を開催しました。コロナ感染症対策として、中学生とその保護者のみなさまを対象に、事前予約制とさせていただきます。受験前の貴重な時間を割いて、また遠方からも、中学生が約430人、保護者の方々を加えると約950人のみなさまが参加してくださいました。



受付開始。事前の申し込みをしていただき、コロナ対策のため検温にご協力いただきました。

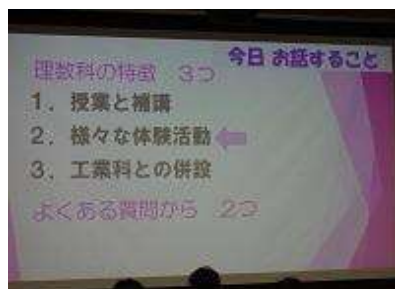
受付を済ませていただいた方に、再入場確認用のリストバンドをつけていただきました。



気持ちよくお迎えしようと、早朝、生徒たちが自主的に校内各所の清掃をチェックしてくれました。

P T Aのみなさまが、科学技術高校グッズの販売コーナーを担当してくださいました。

理数科説明会



会場が満席となってしまう、急遽イスを追加しました。御協力いただきありがとうございました。

授業参観



普通教科や専門科目の授業をご覧いただきました。実験や実習の様子も、教室に入って近くで確かめていただきました。



富士山が応援してくれているように見えていました。

学校説明会 & 学校紹介動画上映

本校放送映像研究部の生徒たちが制作した学校紹介ムービーをご覧ください。

本校生徒たちの様子に、高校生活のイメージを膨らませているようにみえました。

各回約30分間、計6回行い、大勢の中学生と保護者のみなさまが参加してくださいました。



校長からのメッセージ

「受験を前に、貴重な時間を割いて、また遠方からも、本校のオープンスクールに御参加いただき感謝申し上げます。さて、中学3年の皆さんは、自分がどこの高校に進もうか、志望校を最終的に選択する時期にきていると思います。高校時代はわずか3年間ですが、将来の自分の夢をかなえる基礎を築くための大変重要な時期です。そして、ひとくちに高校といっても、学校によって本当に異なります。どんな学校で学び、どんな仲間や先生方と出会うかによって、人生を左右することになるでしょう。ぜひいろんな学校をみて比べて、自分に最も合った高校を選んでください。

私は日頃、時間の許す限り校内を歩き回って生徒の授業や活動の様子などをみさせてもらっています。本校では興味深い専門的な実験や実習の授業が多く、とてもうらやましく感じています。

「もしも、自分が高校生に戻れたなら、こういう授業を受けてみたかった」と思います。また、生徒たちにとってそうであることを目標に、教職員一丸となって「チーム科学技術高校」という気持ちで学校運営にあたっています。

世の中は、AIの出現や新型コロナの影響なども受け、大きく変わりつつあります。そこで重要となるのは「ほんものの力」を身につけるといことです。本校は開校以来、15年間、「ほんものの力」をはぐくむ教育を実践してきました。みなさん一人ひとりが、毎日ワクワクしながら新たなことに挑戦し、『可能性の扉を開く鍵』を見つけて欲しいと願います。受験が近づくにつれて、不安な気持ちになることもあるかもしれませんが。そんな時は、本校学校ホームページの高校ブログをご覧ください。ほぼ毎日、在校生の学校生活の様子をアップしています。およそ5ヶ月には、あなたの頑張っている姿がホームページの画面に現れることでしょう。保護者の皆様、ぜひお子さまを温かく見守っていただき、応援してあげていただきたいと思います。桜の花咲くころ、夢と希望にあふれるみなさんに再びお会いできるのを楽しみにしています。」

配布資料 から

【速報】

都市基盤工学科



令和4年度 公務員試験結果

○静岡市職員採用試験 8人合格

11月11日(金)、「令和4年度静岡市職員採用試験(高卒程度)最終合格者」の発表があり、本校から二次試験を受験した都市基盤工学科3年生8名全員が合格しました。

本校都市基盤工学科は学生1クラス40人で、その5人に1人、2割に相当します。募集職種別の内訳は、土木が6人、水道技術が2人です。

○焼津市職員採用試験 3人合格

○藤枝市職員採用試験 1人合格

○島田市職員採用試験 1人合格

○静岡県職員採用試験 2人合格

○国家公務員採用試験 7人合格

「『可能性の扉を開く鍵』がきつと見つかる」

静岡県立科学技術高等学校

公務員として活躍する都市基盤工学科卒業生からのメッセージ

国土交通省 中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所 調査課 勤務
富田 遼 さん(令和元年度卒業)

私は、令和元年度に本校都市基盤工学科を卒業し、国土交通省中部地方整備局に入省しました。入省してから3年が経ち、現在は岐阜県にあるダムの建設事務所働いています。ダム事業というのはとても大きな事業で、多額の事業費や完成までに長い年月を要します。現在、携わっているダムは木曽川本川に建設され、岐阜県はもちろん愛知県や三重県などを洪水被害から守ります。このように、我々は、人々が安心して暮らせる社会の実現のために日々の業務を行っています。私は、この「国土交通省」という仕事に誇りを持ち、楽しく仕事をしています。これからは、科学技術高校で基礎となる知識を学び、先生方から多くのサポートを受けた賜物だと思っています。現在の国土交通行政は、気候変動による災害の頻発・激甚化や老朽化したインフラの増加などの課題が顕著に、我々はどういった課題に対応していかなければなりません。共に働き、中部圏を災害に強い地域にしていきたいでしょう！



富田 遼さん(ダム工事現場にて)



川口 晃輝さん(生徒会員として文化祭を盛り上げました)

富士市役所 上下水道部
水道工務課 勤務
川口 晃輝さん(令和元年度卒業)

私は「誰もが安全で安心して暮らせる街づくりをしたい」という思いから都市基盤工学科へ入学しました。高校時代には、確かな知識や技術を身につけるため、授業や実習に真剣に取り組まれました。先生方は、とても分かりやすく授業や指導をしてください、2級土木施工管理技術検定や測量士補などの国家資格を取得することができました。体育祭では、3年連続の学年優勝を目指し、クラスが丸となって取り組み、今でも大変良い思い出のひとつです。また、「東校生ものづくりコンテスト」への出場や、東日本大震災の被災地訪問など、様々な経験をすることができました。なかでも、全国から集まった高校生たちと2日間にわたり、防災について議論した「高校生が被災地で考える防災5ミット」は、私の人生を決定づける運命的な出来事でした。卒業後は、「生まれ育った地元・富士市に貢献したい」という思いから、富士市役所に入庁しました。現在は、土木技術職員として、老朽化した水道管を耐震性のある新しいものに布設する工事の設計(図面の作成)・積算(工事費の算出)・監督業務等に携わっています。仕事は、庁内での業務だけでなく、担当している工事現場へ行き、立会いやヘルプ操作などをすることもあります。大変なこともありますが、受注者と共に進めてきた工事が完成した時や、市民の方々に「ありがとう」と感謝のお言葉をいただいた時には、達成感とやりがいを感じます。科学技術高校には、日頃の授業はもちろん課外活動など様々なところで、人間的に大きく成長に導いてくれる環境があります。3年間ともに過ごしたクラスの仲間たちとは、卒業した現在でも連絡を取り合い、食事や旅行に行ったりもしています。科学技術高校で過ごした高校時代は、私にとってかけがえのない宝物です。ぜひ皆さんも、科学技術高校で『可能性の扉を開く鍵』を見つけてください。

昼風景



日替わりランチは「タンドリーチキン定食」です。

日替わり丼は「味噌カツ丼」です。



先日、復活セレモニーを行った旧清水工業高校のピアノを生徒たちが演奏し、美しい音色が生徒ホールに響きました。



部活動見学



それぞれ、入学後の姿をイメージしているようにみえました。

入試まであと百日あまり。じっくり考えて、それぞれに合った進路先を選択してください。

春、夢と希望に満ちた皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

「ほんものの力」を身につけ、未来へ羽ばたこう！

☆「目指せ！！ 理系のスペシャリスト」☆ 静岡県立科学技術高校